

グリーンだよりで地震被害に遭遇!

高層住宅における地震時の被害想定訓練としてシリーズで3ヶ月間にわたり掲載させていただきます。

さて、マンションにお住まいのあなた!もしも、地震が起きた場合、あなたの生活はこうなるかもしれません!まずは被災時の生活を維持する上で重要な要素をイメージするために一定の条件のもとで想定をしたものです。なお、ここで想定している復旧の日時、順序などはあくまでも仮想であり、このとおりに進むものではありませんのでご了承ください。

【想定条件】

- ・加古川市北部、山崎断層帯主部を震源地とするM7.7の地震が発生(兵庫県地域防災計画より)
- ・加古川市中心部では震度6弱を観測
- ・すべてのライフラインが供給停止とエレベーター停止
- ・グリーンシティは、外構えなどに一部亀裂などが見られるが高層棟本体は異常なし
- ・建物内での火災はなく、住戸内は家財が散乱しているものの居住は可能

【想定シナリオ】

Aさん宅(30代の会社員・専業主婦の夫婦、中学生と小学生の4大家族、8階居住)

地震発生直後のシナリオ~

1.地震発生

12月10日(木)19時

いつものように夕飯の用意をしていたらドスンという縦揺れがきたと思ったらすぐに大きな横揺れが始まった。

2.ガス停止・停電

あわてて**ガスの栓**を閉めたが(後でわかったことだが、他の家庭ではマイコンメータが作動してガスは自動停止したらしい)その直後電気が消えて真っ暗になった。

3.家財の飛散・家具類転倒防止対策

あわててしゃがみこんで台にしがみついたが、食器や調理器具が飛んできて避けるのに必死だった。幸い、**食器棚や冷蔵庫は転倒防止**をしていたので、倒れることはなかった。後は何が何だかわからない状態だ。

4.揺れのおさまり

揺れがおさまった。**すごく長く感じられた**が30秒くらいの出来事だろうか。我が家は14階建てのマンションの8階、中程とはいえ本当に生きた心地はしなかった。まだ揺れている感じがする。

5.家族の確認

台所を出て、手探りで子ども部屋に下の子がいるので確かめに行った。声をかけると**机の下に隠れていた**。ほっと安心した。



6.周辺状況の確認



懐中電灯を取り出してリビングに行くとき々なものが散乱している。窓から外を眺めると周り一帯は停電しており、遠方でも

明かりがついている所は少ない。

7.安否確認・通信確保

固定電話も携帯電話も通じない。会社にいる夫への携帯もかからないので心配だ。上の子は塾から戻ってこないが、**携帯のメール**が届き確認できた。『塾で安全な場所に避難しているので、様子を確認してから帰宅する』とのことで、ちょっと安心。携帯のメール通信は制限(通信規制)されていないようで安心し、夫にも携帯メールを送った。「大丈夫なの?」もうひとつ思い出した!「携帯の**災害伝言板サービス**」にも登録し、安否を伝えるようにした。

8.情報収集

停電でテレビがつかないので、**ポータブルラジオ**を窓際に持って行きFMのBANBANラジオ(加古川コミュニティFM)を聞いた。山崎断層帯主部を震源とする地震で加古川では全域で震度6弱。交通機関もすべて止まっていて、道路などもいたるところで通行規制がかかっているようだ。



9.個人備蓄

マンションの防災会から常にいわれていた「**生活水の確保**」。防災井戸から汲み置きしている水が20Lポリタンクで2個の合計40Lは備蓄している。いつもその水でご飯を炊きお茶を沸かしている。お風呂も流さずためているので「**トイレの水**」もしばらくは大丈夫。(後でわかったが、揺れでこぼれて少し減っていた)非常食というものは無いが、缶詰は食べては買い足しているのでOK。もう一つは、防災会がうるさい位にっていた「**粉の備蓄**」(これは次月号につづく)。うちでは、お好み焼きが好きなのでいつも2袋は置いている。探せば、お米・そうめん・冷凍のお餅・カレー粉・カップラーメン・果物・菓子など。心配なのは冷蔵庫の生ものだ。お肉に魚介類があるのだが・・・?(原稿は東京都中央区高層住宅防災対策パンフレットを元にアレンジしています。)

